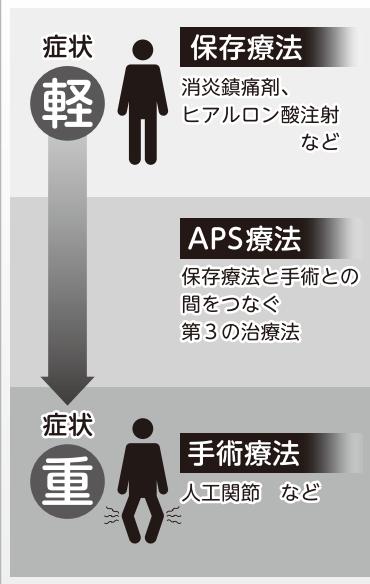


ここで注意していただきたいのが、痛みの強さと症状の進行度合いは必ずしも一致するものではないということです。痛みは我慢できる程度であっても、実は病気そのものはかなり進行している場合があります。ひざに違和感を感じ始めてから2週間たつても痛みが自然に消失しない場合は、ぜひ整形外科で診察を受けていただきたいです。レントゲンやMRIで検査をすれば正確なひざの状態が確認でき、治療の選択肢も広がります。一方で、突然激痛が起る患者さんもおられます。半月板が切れていることがありますので、その場合はすぐに受診して下さい。

変形性ひざ関節症の治療



関節の痛み・変形・リウマチに 悩んでいる全ての皆さまへ

人工関節ドットコム

電話無料相談
※通話料は通信者負担、相談料は無料です

※通話料は通信者負担、相談料は無料です

電話 0570-783855

お気軽にお電話ください!
平日10:00~17:00

<https://www.jinko-kansetsu.com>



クオラリハビリテーション病院あいら
整形外科部長

南 周作先生

(みなみ・しゅうさく)
日本整形外科学会認定専門医
同運動器リハビリテーション医

関節全体が傷んでいる場合は「全置換術」を行います。医療技術の進歩で耐久性に優れた新素材が開発されており、長期的な治療成績も安定しています。一方、傷んでいる一部分だけを入れ換えるのが「部分置換術」です。鞄帯を切らずに残しますので、回復も早く、術後のひざの動きが自然で「違和感をほとんど感じない」と言われる患者さんが多いです。

入院期間はそれぞれの患者さんや医療施設によって異なりますが、大体の目安として「全置換術」が1～2カ月、「部分置換術」が2週間～1カ月です。治療費は保険適用で、高額療養費制度も使えますので安心して手術を受けていただけると思います。

高齢者をはじめ多くの人を悩ませているひざの痛み。原因となる病気はさまざまですが、最も多いのが「変形性ひざ関節症」です。「歳だから仕方ない」「もしも手術となつたら怖い」と、痛みを我慢して治療を先延ばしにしている人も少なくありません。しかし、早めに受診して正確な診断を受けると治療の選択肢が広がります。近年では患者さん自身の血液を利用した再生療法も注目されています。そこでこの分野の専門医であるクオラリハビリテーション病院の選択肢、新しい治療法について聞きました。

広がる選択肢、再生医療に注目

勒帯切らずに残す
「部分置換術」

「部分置換術」

治療には多様な選択肢があります。まず取り組む治療法は「保存療法」。減量や運動による筋力強化のほか、痛み止めや外用薬（湿布や塗り薬など）、ヒアルロン酸の関節内注射といった薬物療法があります。

この治療法で改善が見られない場合は手術を検討します。半月板を損傷している場合は内視鏡下で半月板を切除あるいは縫合する手術を行います。70歳前後までの比較的若い人で活動性の高い人にはO脚を矯正する「骨切り術」を行うこともあります。が、痛みや腫れを取り除き、変形を矯正する効果が最も高いのが人工膝（ひざ）関節に置き換える手術です。

が、患者さんの中には手術への抵抗感が大きかったり、重篤な合併症があつて手術ができないケースもあります。そこで近年、新たな選択肢として注目されるようになつてきたのが、患者さんご自身の血液を使う再生療法である「APS療法」です。

治療の流れをご紹介しますと、まず患者さんから50～60cc採血します。次に炎症を抑えて痛みを緩和するたんぱく質と関節を守る成分を特殊な機器で高濃度に抽出し、直接ひざ関節に注射します。採血してから注射を終えるまで2時間ほどでありますので、入院は不要です。治療後、痛みが出ることがあります。個人差はあります。が、約1ヶ月後から炎症や痛みの軽減効果を感じられ、通常1年以上持続します。自由診療ですので費用は高額になりますが、保存療法から手術に至る前の患者さんの事情やニーズに対応できる新しい一つの選択肢として、検討されてみる価値はあると思います。

の軽減効果を感じられ、通常1年以上持続します。自由診療でですので費用は高額になりますが、保存療法から手術に至る前の患者さんの事情やニーズに対応できる新しい一つの選択肢として、検討されてみる価値はあると思います。

いずれの手術、治療法であっても脚の健康を取り戻された方は、仕事に復帰されたり、あきらめていた趣味を再開されたりと人生を楽しんでおられます。特に人工関節置換術を受けられた女性の患者さんは「〇脚がひどくて悩んでいましたが、手術のおかげで脚がまっすぐになって嬉しいです」と喜ばれる方もいます。

今、ひざの悩みを抱えておられる方はぜひ、早めに受診されてご自身の脚がどのような状態であるかを把握することから始めていただきたいです。痛みに支配される生活から解放され、やりたいくことに挑戦できる生き生きとした毎日を送られることを願っています。